

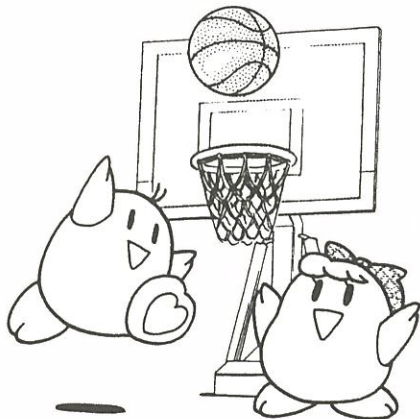
酒田市社会福祉協議会会報 (全戸配布)

ふれあい 第6号



富士見学区社協 子育て支援事業 (トトロの森)

この会報は、**赤い羽根共同募金**の配分金で発行しています。

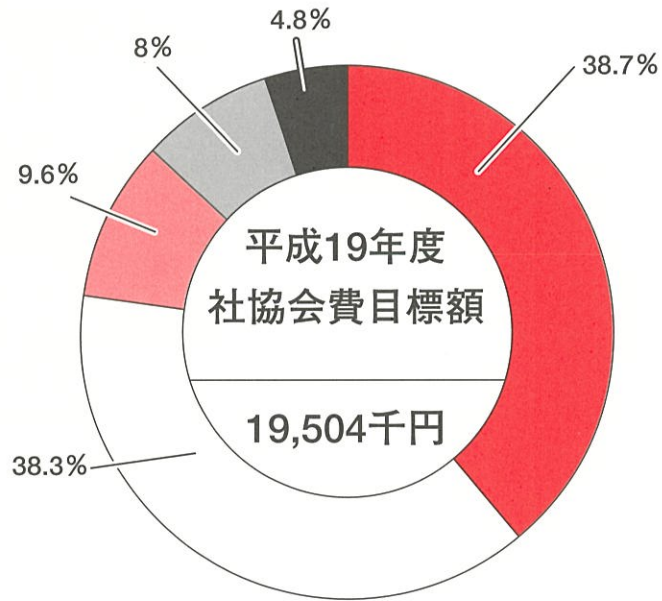


- 社協会費・日赤社費納入のお願い 2~3
- みんなで参加「介護予防講座」 4
- 社協支部の活動紹介 (平田支部) 5
- 「住民参画による地域社会 まちづくりの創造」
酒田市地域福祉活動計画のあらましを紹介します 6~7
- 「伝言板」「ありがとう善意の輪」 8
- コラムふれあい 8

地区	社協会費	日赤社費
酒田	400円	700円
八幡	1,500円	
松山	1,800円	
平田	1,800円	

究、協議、検討を行う事務費として七百五十五万七千円を充てさせていただきます。次に地域福祉推進事業費（新・草の根事業費等）として七百四十七万五千円を予算計上しました。また、地域における福祉活動を支える自治会長の研修会、活動を広める啓発事業等に百八十七万六千円、県社会福祉協議会等への負担金に百六十四万四千円、老人クラブ、身体障害者協会、民生委員児童委員協議会等の活動を援助する助成金に九十五万二千円を充当し事業を行う予定です。本年度も住民参加による活動を展開してまいりますのでよろしくご協力お願いします。

「平成19年度社協会費目標額と用途」



- 理事会・評議員会、支部運営委員会、事務費等
- 地域福祉推進事業費（新・草の根事業等）
- 自治会長研修会、福祉のつどい事業費、啓発事業費（ホームページ、支部広報費等）
- 負担金（県社協会費等）
- 助成金（老人クラブ、身障協会、民生児童委員協議会等）



平成19年度

社協会費
日赤社費

納入のお願い

社会福祉協議会は、地域社会において民間の自主的な福祉活動の中核となり、住民誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を使命とする組織です。

住みよい、福祉のまちづくりを基本に地域ニーズや課題に即応できる事業を展開して行きます。「社協会費」は、住民参加による地域福祉活動を展開する貴

重なる財源です。今年度市民の皆さまからご協力いただく会費は、千九百五十万四千円です。その用途は、市民各層から選出された理事、評議員等により地域福祉事業の研

平成19年度 主な地域福祉活動

酒田支部	八幡支部	松山支部	平田支部
<ul style="list-style-type: none"> ◎新・草の根事業 ○23学区社協の活動支援 ・見守りネットワーク支援事業 ・合同研修事業 ・ふれあい（老人）給食 ・地域あんしん事業 ・地域交流事業（サロン） ・介護予防講座事業 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新・草の根事業 ○4地区社協の活動支援 ・見守りネットワーク支援事業（指定地区の拡大） ・合同研修事業（資質向上の研修会） ・地域あんしん事業 ・地域交流事業（うきうきサロン） ・介護予防講座事業 ・ふれあい（老人）給食 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新・草の根事業 ○4地区社協の活動支援 ・福祉隣組の養成と研修会 ・福祉協力員の養成と研修会 ・福祉隣組の見守り支援 ・自治会サロンの普及 ・介護予防講座事業 ・合同研修会 ・地域あんしん事業 ・ふれあい（老人）給食 	<ul style="list-style-type: none"> ◎新・草の根事業 ○地区社協の活動支援 ・研修会、福祉座談会（10地区で開催予定） ・ふれあい（老人）給食事業（3回） ・地域あんしん事業 ・地域交流事業（いきいきサロン、高齢者スポーツ等） ・介護予防講座事業
<ul style="list-style-type: none"> ○学区・地区社協コミュニティワーカー配置モデル事業及び地区ボランティアセンター設置モデル事業の検討、準備 ○共同募金運動、歳末たすけあい募金運動 ○相談事業 ○会報の発行（4回） ○その他 			

○日赤酒田市地区

赤十字は、災害救護や難民の救援など国の内外で人道的な活動を行っています。その経費は、皆さまからの社資（社費・寄附金）により支えられています。平成19年度も赤十字事業にご理解をいただき、社資の納入についてご協力をお願いします。

社資の納入をはじめ、日赤山形県支部酒田地区への問い合わせは日本赤十字社山形県支部酒田市地区までお願いします。

〔住所〕
酒田市新橋二丁目一番地の十九
「酒田市地域福祉センター内」
酒田市社会福祉協議会
〔電話〕（二三）五七六五
（担当/碓谷）

▼ふれあい給食ボランティア（松山4地区社協）



▼日本赤十字救急法講習会（地域福祉センター）



▼平成18年度自治会長研修会（地域福祉センター）

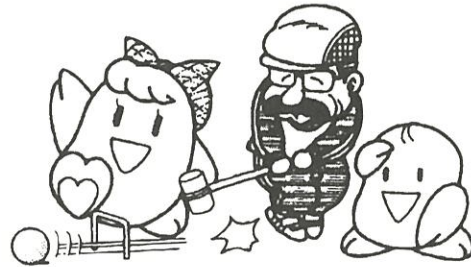


『介護予防講座』

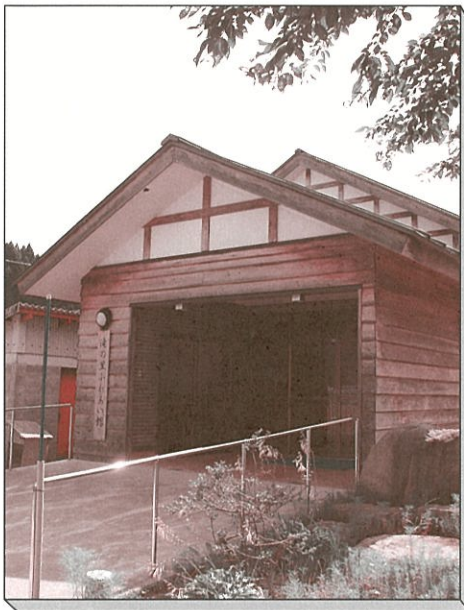
みんな
な
で
参
加



▲泉学区介護予防講座 (H18.11.29)



高齢社会が年々進んでおりま
すが酒田市の高齢化率は、本年
四月一日現在で二六・八%で
前年度と比較して〇・六ポイン
ト上昇しています。市では平成
二六年の高齢化率が三十%を
超えると予測しています。
こうした中で要介護状態とな
り介護保険を利用する方も増え
ています。酒田市の介護給付費
は、介護保険制度がスタートし
た平成十二年度に四十六億円で
したが、平成十八年度で七十八



▲介護予防拠点施設
滝の里ふれあい館

億円となり、六年間で一・七倍
なっています。
国は昨年四月から介護保険法
を改正し、介護状態にならない
ための「介護予防」の推進を図
りました。酒田市高齢福祉課で
は委託事業として各学区・地区
社協単位で、介護予防の普及・
啓発を行う「介護予防講座」を
開催し、延べ八千百十八人の方
に参加していただきました。
本年度はさらに多くの方に参
加していただくために、各学
区・地区単位それぞれ地域の特
徴を出した講座になるよう工夫
しております。
また、重点事業として次の三
つを実施します。
○玄米ダンベル体操の普及



玄米ダンベル

○認知症予防事業の拡充
○介護予防拠点施設「滝の里ふ
れあい館」を活用したバスレ
クリエーション
「滝の里ふれあい館（升田字
大西十一番地）」は高齢者の
皆さまが健康で楽しい生活を続
けられるよう、元気づくり、健
康づくりを応援するための介護
予防拠点施設です。玉簾の滝ま
でのウォーキングや自然観察な
どを行う内容です。
介護予防は日本全体の課題で
す。最終的には「自分のために
自分で取り組む」ことです。
皆さん「介護予防講座」に是
非参加してください。
（講座の募集は各学区ごとに行
います）

社協支部の活動紹介

平田支部

ふれあおうサロンで

平田支部では地域の高齢者を中心にした三十九のいこいの場「サロン」活動を強化しています。

サロンは、お茶のみ、カラオケ、ビデオ鑑賞、軽スポーツなど、自分たちの好きなことで楽しい、自分たちの「サロン」をよめ、身近なふれあいの場にするため、地域の皆さんの協力をお願いします。



いきいきサロンいすみ(泉興野)

一緒にボランティア

ボランティアは、地域、社会への願いや思いを進んで行動に移すことです。相手がいる以上責任も伴いますが、とても楽しく達成感を感じることも多くあります。

ふだんの暮らしをちよつと広げてみる、視点を変えてみる、行動してみる……それだけで、ボランティアはできます。社会福祉協議会では、平田ボランティア連絡協議会と連携し、



老人クラブ女性部(調理実習)

様々なボランティアの情報をお届けしています。「何かやってみたいな」と思ったら是非平田支部に相談してください。また、様々な特技をお持ちの方で社会に役立てたいとお考えの方の情報もお待ちしています。

◎平田支部(五二)二二六〇
担当 菅原まで

阪神淡路大震災から十年 祈りのともしび

平田地区の高校生ボランティア・ノンストップは、毎年一月十七日の阪神淡路大震災の追悼のため手づくりロウソクを神戸市に贈ってきました。

今年も、大震災から十年目を迎えて、「祈りのともしび」と題した式典を行いました。当日はロウソクを「一」「二」「七」に並べ、犠牲になられた方々のご冥福を祈りました。



祈りのともしび (高校生ボランティア・ノンストップ)

身障協会 あいあいサロン

去る一月二十四日、鶴岡市櫛引身体障害者協会の皆さんが来所され、平田の協会と情報交換会を行いました。

会議の中では、会員の障害の重度化や、役員の高齢化などにより、会の運営がむずかしくなっていることが大きな課題として話し合われました。また、「障害のために家に閉じこもりがちの人に声をかけ、友達づきあいをするすまていこう」などの意見が出されました。そうした活動の中心に「あいあいサロン事業」があります。今後も、これらを重点的に、一人でも多くの仲間と一緒に活動する事業の拡充を図ります。

(基本理念) 「住民参画による地域社会まちづくりの創造」

酒田市地域福祉活動計画

のあらましを紹介いたします。

平成17年度と平成18年度の2か年で「酒田市地域福祉活動計画」(計画期間平成18年度から22年度の5ヶ年度)の策定を進めてまいりましたが、この度完成いたしました。この計画は酒田市の地域福祉活動を具体的に進める行動計画です。そのあらましを紹介いたします。

地域福祉活動計画とは

私たちがとりまく環境は厳しく、少子高齢社会はついに人口減少社会へと導きました。反面、地域における福祉ニーズは児童から高齢者、障害者まで広範囲にわたり、一層難しくなっています。そこで求められているのが、公的サービスと同時に住民同士のたすけあいである「地域の福祉力」がバランスよく整備されることです。地域福祉活動計画は、みんなが「しあわせ」になるために協力して「福祉のまちづくり」を進めるための行動計画です。

基本目標

- 住民参画・協働のまちづくり
- 安心すみよいまちづくり
- 相互連携による広がるまちづくり
- 持続発展する地域福祉活動

基本施策

- ① 小地域福祉活動の推進
 - ▽新・草の根事業の推進
 - ▽学区・地区社協コミュニティワーーカー配置モデル事業
- ② ボランティア活動の推進
 - ▽コミュニティ振興会と連携したまちづくり活動の支援
 - ▽自主防災組織との連携と支援
 - ▽ボランティア活動の推進
 - ▽ボランティア団体との連携強化
 - ▽地区ボランティアセンターとコーディネーター配置モデル事業
 - ▽地域ニーズに的確に対応するボランティアの育成
 - ▽NPO、企業の社会貢献環境の整備と啓発の拡充
- ③ 在宅福祉活動の推進
 - ▽地域包括支援センターの振興
 - ▽相談機関のネットワーク化
 - ▽福祉サービス利用援助事業の拡充
- ④ 団体、行政連携の強化
 - ▽新規地域福祉事業の創設
 - ▽学区・地区社協を核とした

重点事業

- ⑤ 市社協の活動基盤の強化
 - ▽社協・機能の拡充
 - ▽財政について(地域福祉拡充のための財源確保)
 - ▽市民ニーズに応えるための人材育成
 - ▽情報対策の拡充(ホームページ、ブログ、パワーポイントなどの整備、広報広聴の拡充)
- 【一】学区・地区社協を核とした小地域活動を振興し、全市民的に住民同士の助け合いのネットワーク化を図るとともに、様々な事業の地区展開を行うことで、地域福祉活動の拡充を図ります。
 - ◎学区・地区社協の運営に関する推進役、調整的な役割を担う人材を育成し配置するモデル事業を展開し、学区・地
- 地域連携の構築
 - ▽行政等との連携システム構築(保健、医療、福祉、まちづくり団体など)
 - ▽広域連携について
 - ▽地域特性を活かした事業展開

実施項目	取り組み内容	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
学区・地区社協事務局強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学区・地区社協コミュニティワーカー養成研修講座 ・学区・地区社協コミュニティワーカー配置事業(年次計画) 		協議検討	→	→	
ボランティア活動の拡充推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地区ボランティアセンターコーディネーター養成研修講座 ・地区ボランティアセンター配置事業(年次計画) 		協議検討	→	→	

区社協の組織を強化します。

【二】ボランティア活動の拡充を図るため、身近な地区内において「ボランティアを求めている人」と「ボランティアをしたい人」の間で、相談、斡旋をし、同時に人材の育成、提供などを行う「地区ボランティアセンター」を設置するモデル事業を展開します。そのセンターを運営する人材として「地区ボラセン・コーディネーター」養成研修も計画的に実施します。

【その他】福祉サービスを利用

する人に必要な情報を提供したり、ワンストップによる相談体制を確立し、福祉サービス利用者の権利擁護を推進します。

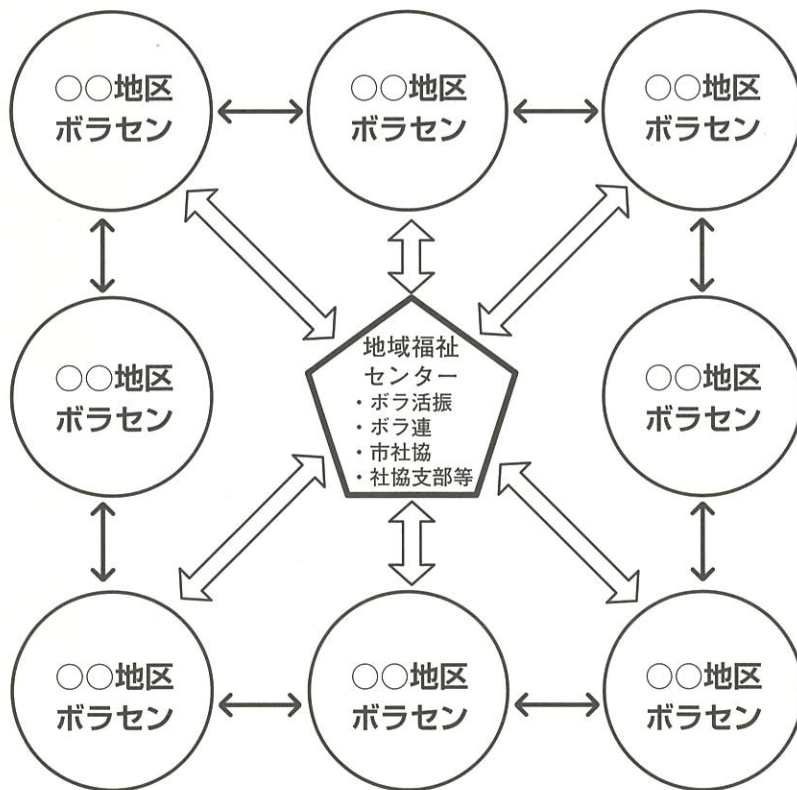
◎行政と車の両輪として地域福祉の拡充を図ります。

◎すべての事務事業を評価し見直す「事務事業評価システム」を導入します。

◎地域福祉活動計画の進捗管理を行います。

◎広く市民の声を聴き、同時に多くの地域福祉情報を提供します。

[地区ボランティアセンターイメージ図]



※地区ボランティアセンターは学区・地区内に「ボランティアセンター機能」を整備する構想であり、建物を整備するものではありません。



ご利用ください。 ふれあいヘルパーサービスの「ふれあいセンター」

伝 言 板



NPO法人「ふれあいヘルパーサービス」(理事長・佐藤勝一氏)では、「ヘルストロン」を活用し、市民が友だちつきあいの交流の場として利用できる「ふれあいセンター」を開設しました。「ヘルストロン」は、酒田市老人福祉センターで長らく市民に利用された健康増進の機器(椅子)で「ふれあいヘルパーサービス」



へ高齢者の健康増進のために活用する事業としてゆずりうけたものです。

介護保険事業も「予防介護」に力を入れています。私たちもヘルストロンを利用して健康の増進を図っていくため憩いの場づくりに取り組むこととしました。お茶も用意していますので、気軽にご利用ください。

利用日時 / 土日祝日を除く毎日 九時から十六時まで 直接お出でください。

場所 / 北新橋一丁目八の一

電話 / (二三) 八一九一

利用料金 / 百円

位置図



ありがとう 善意の輪

酒田市社協へのご寄付

酒田飽海更正保護女性会 (二〇、〇〇〇円)

孝祥寺 寒行修行者一同 (一〇、〇〇〇円)

四ツ葉の会 (一〇、〇〇〇円)

酒田遊技業協同組合十四社 (七一三、一〇〇円)

小松恵美子(市条) (五〇、〇〇〇円)

匿名 (二〇、〇〇〇円)

匿名 (三〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

匿名 (五〇、〇〇〇円)

【敬称略】

酒田かわら版へ

「最上川ブルース」

捨ててすむなら

いまずぐに

捨てて流して

しまうもの

一度つかんだ

女の恋は

この身を捨てても

捨て切れぬ

あ、最上川

最上川ブルース

酒田在住の三丁目高詩、作詞

作曲による「最上川ブルース」

を紹介したのは、酒田かわら版

の第一号である。

わがまち酒田には、昔の先輩

たちが、時の封建権力にヘイコ

ラしないで、身近なわがまちを

よくする問題から始めようと、

昭和四十六年十二月十日の創刊

四十九年まで、七十四号を出し

て終刊、地域では特異なミニコ

ミ紙と注目された。豊里生まれ

の三丁目さんは、すでに黄泉へ

旅立ち、惜しい人だった記憶が

よみがえる。

コラム ふれあい

編集委員長 吉村 芳美